

スイングアウトフットレストの開閉・取り外し

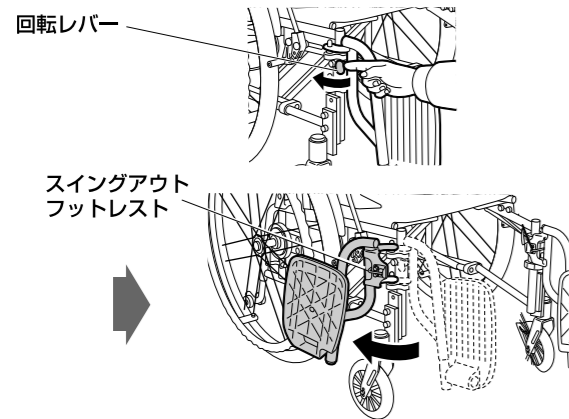
フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フットレストが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

△警告

- ・スイングアウトフットレストの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- ・スイングアウトフットレストを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。

●開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフットレストを外側に回転させて開きます。



●閉じかた

スイングアウトフットレストを内側に回転させて閉じます。閉じた後、スイングアウトフットレストが完全にロックされたことを確認します。

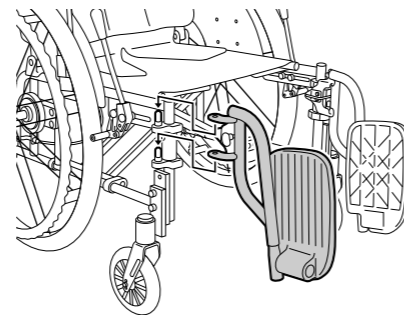
*スイングアウトフットレストを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

●取り外しかた

スイングアウトフットレストを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

●取り付けかた

車体フレーム側の2つのピンにスイングアウトフットレスト側の回転軸穴(2箇所)を合わせてはめ込みます。



*スイングアウトフットレストを開いた状態で、スイングアウトフットレストに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。

アームレストフレームの跳ね上げ

アームレストフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドから車いす、または車いすからベッドへの移動がスムーズに行なえます。

△注意

- ・操作は、必ず両輪の駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- ・アームレストフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。

●跳ね上げかた

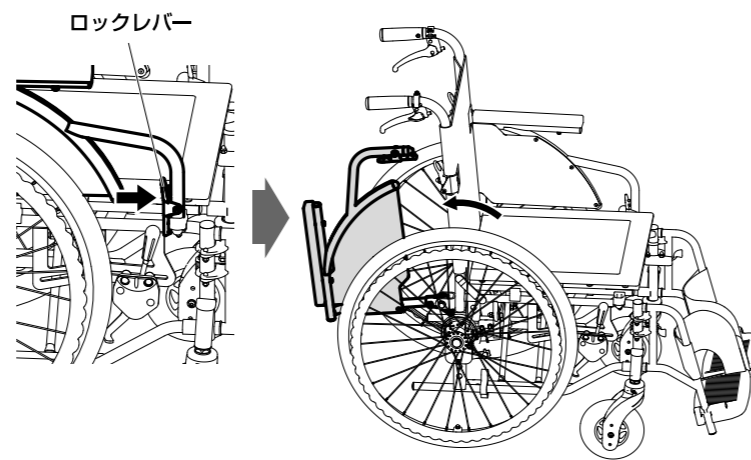
ロックレバーを押しながら、アームレストフレームを後方へ跳ね上げます。

*アームレストフレームを上げた状態で、アームレストフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

●戻しかた

アームレストフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

*アームレストフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。



車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元



株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

001-0001

μ4 (ミューフォー)

MYU4-22 MYU4-16 MYU4-20 MYU4-OP

取扱説明書

はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。


ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。


おもな機能と特長


- モジュール機能
座面の高さ、アームレストの高さをお好みに合わせて調整することができます。
- ウイング機能
アームレストフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。
- テンション式バックシート
バックシートの張り具合を、体型に合わせて調整することができます。
- スイングアウト機能
フットレストをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りがスムーズに行なえます。


安全上のご注意

警告 [死亡または重傷を招く可能性があるもの]

- 

走行中は、スイングアウトフットレストの操作およびアームレストフレームの跳ね上げをしないでください。
転倒または転落して、事故やけがにつながるおそれがあります。
- 

スイングアウトフットレスト、アームレストフレーム、背折れジョイントよりも上の押し手フレーム等、可動部を持って持ち上げないでください。
部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。
- 

スイングアウトフットレストの操作時およびアームレストフレームの跳ね上げ時は、可動部分に身体や衣服をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 

使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

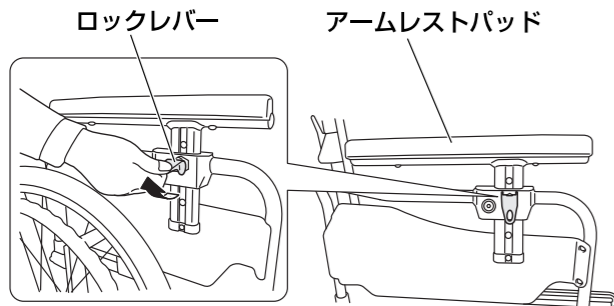
各機能の使いかた

アームレストパッドの高さ調節

注意

- ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ・調節中にアームレストが下がり、アームレストフレームとアームレストパッドの間に指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・アームレストを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ロックレバーを引いてロックを解除します。



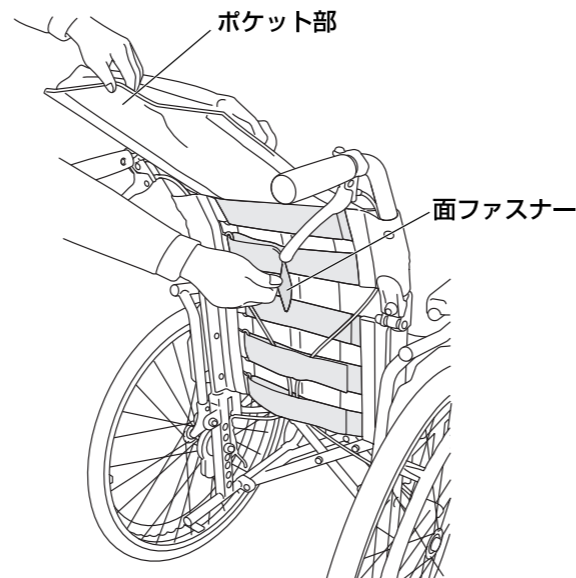
- 3 アームレストパッドの高さを調節します。
* 高さは230mm~305mmの間で5段階に調節できます。
- 4 調節を終えたら、レバーを元に戻してロックさせ、アームレストパッドを固定します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。
* 調節後、アームレストがしっかり固定されていることを確認してください。

バックシートの張り具合調節

* バックシートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ポケット部をめくり上げます。
- 3 面ファスナーをはがし、バックシートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合せます。



* 手でバックシートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。

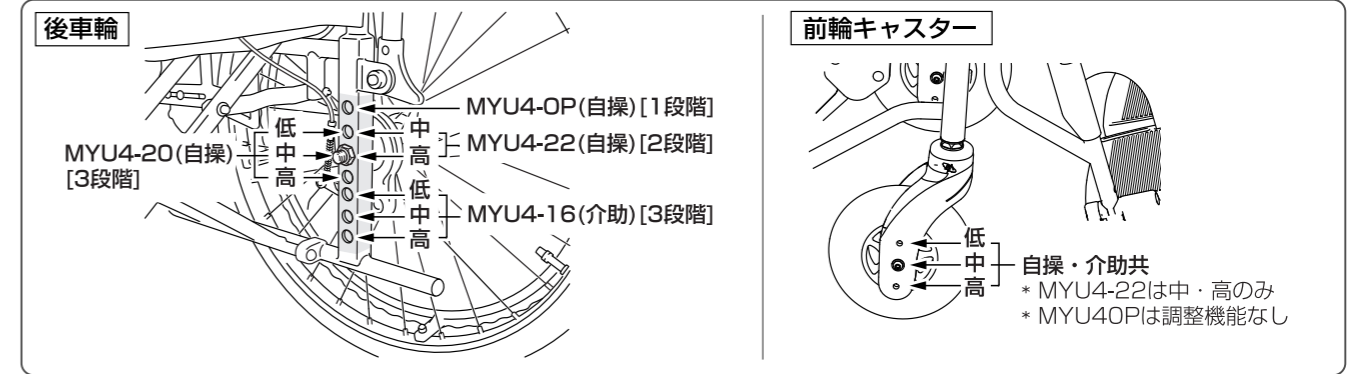
- 4 ポケット部を元に戻します。

座面の高さ調節

座面の高さを最大3段階（低・中・高）に調節することができます(MYU4-0Pを除く)。
座面の高さ調節は、後車輪と前輪キャスターの取り付け位置をそれぞれ対応する高さに調節することで行ないます。

- * 後車輪と前輪キャスターは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。
- * 座面の高さを変更したら、必ず駐車ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

後車輪と前輪キャスターの調節範囲（仕様別）



危険

- ・後車輪と前輪キャスターは、必ず対応する高さ設定に調節してください。
- ・後車輪と前輪キャスターの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。
- ・使用者を乗せたまま調節を行なうのは、絶対におやめください。

後車輪の高さを変える

- 1 作業しない側のブレーキのみかけます。
- 2 後車輪の車軸内側のナットををスパナなどで回して外し、後車輪を引き抜きます。
*このとき、ドラムブレーキも一緒に取り外します。
- 3 後車輪を取り付ける穴を決め、後車輪の車軸をドラムブレーキ等に通し、本体フレームに差し込みます。
- 4 車軸内側にナット等を取り付け、しっかりと締め込みます。
- 5 後車輪がガタつかず、しっかりと固定されていることを確認します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

前輪キャスターの高さを変える

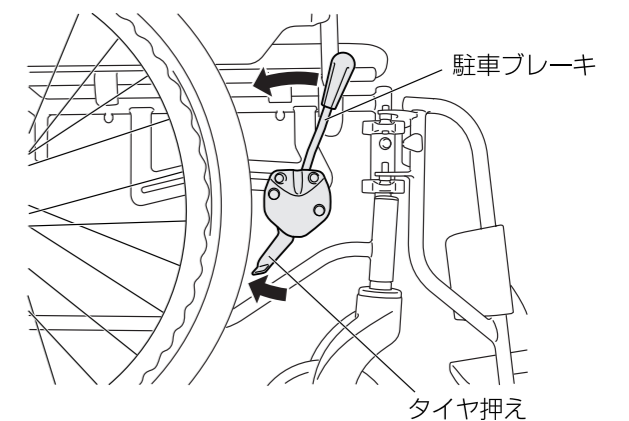
- 1 駐車ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 前輪キャスター軸のナットををスパナなどで回して外し、ボルトを抜きます。
- 3 上記「後車輪と前輪キャスターの調節範囲（仕様別）」に従って、後車輪と同じ高さ設定になる取付け穴にボルトを差し込み、しっかりとナットを締め込みます。
- 4 前輪キャスターがしっかりと固定されていることを確認します。また、前輪キャスターがスムーズに回転することを確認します。

* 反対側も同じ高さに調節してください。

駐車ブレーキの取付位置を調節する

- * 座面の高さを調節したら、後車輪と駐車ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車ブレーキの取付位置を調節してください。
- * ブレーキの効き具合を随時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

- 1 駐車ブレーキの内側のナット（2本）をレンチなどでゆるめます。
- 2 駐車ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押えが当たり、後車輪がしっかり止まる位置に調節します。
- 3 ナット（2本）を締め、駐車ブレーキがガタつかずしっかりと固定されていることを確認します。
- 4 駐車ブレーキをかけ、後車輪がしっかり止まることを確認します。



- * 後車輪がしっかり止まらない場合、または駐車ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
- * 反対側も同様に調節してください。